

令和6年度 第2回苫小牧市消費生活審議会開催結果（会議録）

開催日時 令和7年2月4日（火） 午後1時30分～2時25分

開催場所 苫小牧市民活動センター 3階会議室2

出席者 【委員】

福本達也委員、千葉武徳委員、尾形将臣委員、池田光美委員、秋保洋子委員、山内幸子委員、南史枝委員、城川幸子委員（8名出席、4名欠席）

【市・事務局】

柴田市民生活部長、相原市民生活部次長、畑島市民生活課長、津田市民生活課副主幹、増岡市民生活課主査

《会議概要》

1 開 会

2 部長挨拶

3 議 題

- (1) 令和6年度 消費者教育推進に係る取組経過について
- (2) 第2次苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について
- (3) 今後の消費者教育推進に係る主な取組について

4 その他

5 閉 会

3 議題（要旨）

(1) 令和6年度 消費者教育推進に係る取組経過について

資料により、事務局から説明を行った。

(2) 第2次苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について

資料により、事務局から説明を行った。

（池田委員）

ただいま説明のあったA3資料の右側、基本方針2施策(2)の取組状況が未着手・検討中となっていますが、今後何か取り組んでいく予定はありますか。

（事務局 津田副主幹）

基本方針2施策(2)については、例えば消費生活サポーターの中でやる気があって知識・経験が豊富な方や消費者団体に属して一線で活動しているような方を消費者教育の担い手として登録・リスト化し、担い手自身に講座を実施してもらうことなどを想定し

ています。今後進めていく消費生活サポーター育成の発展形と捉えていますので、まずはサポーター事業を軌道に乗せて、その後本格的に取り組んでいきたいと考えています。

(南委員)

サポーター養成講座ですが、サポーターを募集するに当たって平日の午後の開催となると、なかなか人が集まりにくいのではないかと思います。どういう層の人をサポーターとして想定していますか。

(事務局 津田副主幹)

今回講座の実施に当たり、消費者被害に遭いやすい高齢者の支援を行っている包括支援センターやケアマネージャー、民生委員の方々などを主なターゲットとしており、お仕事の時間内で受講できる設定にしました。

(3) 今後の消費者教育推進に係る主な取組について

資料により、事務局から説明を行った。

(山内委員)

消費生活サポーター養成講座の定員は何人で、どれくらい申込みがありましたか。

(事務局 津田副主幹)

50人の定員のところ45人の申込みがありました。先月1月6日から1月31日まで一般募集を行っていたほか、日常の業務や活動で高齢者などと接する機会の多い民生委員や包括支援センター、老人クラブ連合会などの関係機関・団体に声掛けをしました。

4 その他

(事務局 津田副主幹)

次回の審議会の開催を本年6月に予定していますので、本日の会議が皆様の任期内最後となる予定です。ここまで、本市の消費者行政にご協力や貴重なご意見をいただいたことに深く御礼申し上げるとともに、今後も消費者教育の推進に向けて、引続きご協力賜りますようお願いします。

なお、4月から公募委員の募集を開始し、各団体にも引続き委員推薦をいただきたいと考えていますので、各所属団体や組織のご協力をよろしくお願いします。

(福本会長)

お時間がありますので、各委員から日頃消費生活に関して気になっていることなど、ご意見をいただきたいと思います。

(千葉委員)

くらしのニュースに生活必需品の価格動向が掲載されていますが、最近は気にしながら買い物をしています。

(尾形委員)

くらしのニュースの2月号にインフルエンザの記事が掲載されていますが、小中学校における流行の状況に関して情報があれば教えてください。

(事務局 畑島課長)

業務上のつながりで、教育委員会や保健所と関係性のある健康支援課と連携していますが、細かい情報については把握していません。

(池田委員)

ガソリンや灯油に対し、これまで激変緩和措置として支給されていた補助金が、暖房費のかさむ12月・1月の時期に削減されたことに悔しい気持ちがあります。

(秋保委員)

私の周囲でも物価が高い、野菜の値段が倍になったと悲鳴が上がっています。年金生活者は、特に生活が厳しくなっていると感じます。何とかやりくりを工夫しながら生活しています。

(山内委員)

米の値段が去年の倍ぐらいになっています。私たち消費者協会では、物価高が暮らしにどう影響しているかを調査するため、100人単位でアンケートを取っています。結果については、民報などに記事掲載をお願いしようと思っています。

(南委員)

まず、今日の配付資料はこれまでよりも見やすいという感想を持ちました。それから、消費というものを考えたときに、我々は常に消費しながら生きているので、市が行っているような、こういう事業をやっていますという取組も必要だと思いますが、日々何かしらこういうことをやっていますというカジュアルな分かりやすい発信を市民全体に対して行っても良いのではないかと思います。

(城川委員)

私も今日の資料は、すごく見やすくなったと感じました。また、くらしのニュースもインフルエンザがはやっているときにちょうど良いテーマだったと思います。設置場所はどこでしたか。今は物価が上がっているので、こういった節約方法があるというような記事があれば良いと思いました。

(事務局 津田副主幹)

くらしのニュースは市内の食料品店や公共施設などに設置しています。各委員から燃料や物価についてのお話がありましたが、市では生活必需品の価格調査を行っていますので、速やかな情報発信に努めていきたいと考えています。

(山内委員)

今日は、配付資料をテレビ画面で映してくれたのですが、字が小さくて見えません。もう少し大きくすることはできませんか。

(柴田市民生活部長)

失礼いたしました。スクリーンを使う方法もありますので、工夫したいと思います。それから、本日最後に皆さんに急に発言をお願いして申し訳ございません。市の会議は堅苦しくなりがちですが、普段思っていることを今日のようにどんどん言っていただければ、私どもはそれを参考にして今後の消費者行政にいかしていけるとと思いますので、よろしく願いいたします。

(福本会長)

価格や米・野菜の品不足の話のほかに、米に異物混入のような話も聞きますので、日々気を付けていかなければと考えています。また、市の消費生活関連イベントを後になって知ることが多いので、あらかじめ教えていただければと思います。

それでは、本日の審議は全て終了となります。皆様のご協力により、スムーズに進行することができました。また、先ほど事務局から、今回が我々の任期中最後の審議会になりそうだということでした。2年間会長を務めさせていただきましたが、皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。この場を借りてお礼申し上げます。